



## 神奈川県本部旗開きで2018年の飛躍を誓う 例年を超える参加者で大いに盛り上がる！

神奈川県本部は、1月7日に2018年の旗開きを開催。参加者は角田中央執行委員長、神奈川労連の山田事務局長をはじめ来賓の方々を含め約50名が参加をして大いに盛り上がるなかで2018年の運動の飛躍を誓い合い団結と交流を深めました。

主催者を代表して挨拶を行なった伊藤東一県本部委員長は、安倍政権による憲法9条改悪に向けた動きの加速や沖縄辺野古の新基地建設の強行など国民不在の暴政



をストップするた  
 かいの強化を訴え  
 上げることを強く呼びかけました。

旗開きの主催者挨拶をする伊藤委員長  
 の強化を訴えるとともに組織拡大の運動に全力を上げることを強く呼びかけました。



学童の仲間と交流する角田委員長

また、角田中央執行委員長をはじめ、神奈川労連、日本共産党、首都圏交運共闘など多数の来賓の方々のあいさつでも安倍改憲を許さない市民と野党の共闘をひろげること、そのためにも組織を大きく強くすることの重要性が語られました。

## 県南支部は23名が結集し旗開き成功に貢献

県南支部は23名が旗開きに参加し旗開に貢献することができましたが、関東酸素部会の旗開きとも日程が重なったこともあって、参加は三昭運輸分会11名、内外液輸分会8名、合同分会2名、田中製菓分会1名、高橋運輸分会1名の5分会でした。

県本部の旗開きを機に2018年春闘も本格化します。各分会は2018年春闘アンケートや各種の署名活動を追い上げるとともに組織の拡大強化に打って出ましょう。

	2018年春闘アンケート				各種署名						
	トラック職場	一般パート	トラック経営	アンケート合計	トラック個人署名	トラック団体署名	ヒバクシャが求める核廃絶署名	9条改悪反対3000万署名	過労死と差別根絶を求める署名	生公連署名	社会保障拡充署名
① 内外液輸	12			12	30		29	10	10		5
② 福岡運輸	1			1			5		5		
③ 田中製菓		16		16	5	1	61	5		5	
④ イワサワ	15			15			3	5			
⑤ 東進産業	8			8			10		4		
⑥ 中日臨海	5			5	10	1		10	10	5	5
⑦ 高橋運輸	4	4		8	5	1	9	17	9		5
⑧ 日酸運輸	13			13							
⑩ 扶桑運輸							2	6	5		
⑫ アズマインター											
⑬ 三昭運輸	10	4		14	10	1	25	15	25		
⑭ ギオン	1			1		1	3			5	5
⑮ 合同分会	7	1		8	6	1	33	35	25	5	
⑯ その他						4	5				
⑰ 県南支部	1			1	67	1	27				
合計	77	25		102	133	11	212	103	93	20	20



# 被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ましたが、それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

## 私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

### 原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031